

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドーミー長瀬 新築工事	階数	地上6階
建設地	大阪府東大阪市小阪本町2丁目518	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	97人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2016年5月30日
敷地面積	1,075㎡	作成者	NDC建築設計事務所 鈴木進太郎
建築面積	508㎡	確認日	2016年7月19日
延床面積	2,217㎡	確認者	NDC建築設計事務所 藤井正男



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	東大阪市に新築する寄宿舎の計画である。周辺には低層住宅が多いため日照時間を確保するため周囲に空間を確保し、かつ威圧感の無いよう周辺の色彩との調和をはかった。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
アガラスの採用、屋根・壁・床に十分な断熱をするなど、建物の熱負荷低減に配慮した。	寮室間の間仕切り壁を乾式間仕切り壁とし、将来拡張にもフレキシビリティを持たせた計画とした。	周辺の住宅地に配慮した計画とした。周辺の自然と調和した緑化空間を形成した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
複層ガラスを採用して熱負荷低減に配慮した。LED照明等高効率な機器を採用しエネルギーの削減を図った。	躯体と仕上材の分別が比較的容易な収まりとし非再生性資源の使用量削減に配慮した。	ライフサイクルCO ₂ の削減に努めた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0073

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)ドーミー長瀬 新築工事					
		建設地	大阪府東大阪市小阪本町2丁目518-16、518-17、529-7、529-8、530-4、530-5、530-7、530-8、530-11					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							対象外	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.2	3	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	3	
					住戸・宿泊	3.0		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.2		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				2.2		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								